

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月12日			
平成15年度	事業コード	12310	電話	042-769-9230
担当部課名	保健福祉部	地域医療	課	地域医療 係
事務事業名	看護師等修学資金貸付事業			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	生涯にわたる健康づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第3節	市民医療の充実	63以前年度
施策名	第1施策	地域医療体制の充実	

2 実施根拠及び関連法令等

看護師等修学資金貸付条例

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
将来市内において看護師等の業務に従事する人材を的確に育成・確保するため、看護師等養成施設に在学する者に修学資金の貸付けを行う。	看護師等の養成施設に在学する学生で、卒業後、市内の医療機関等に従事する者
	対象数 134人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
事業内容 ・対象者 保健師、助産師、看護師、准看護師の養成施設に在学し卒業後、市内において保健師、助産師、看護師、准看護師の業務に従事する意思を有する者で、養成施設長の推薦を受けた者 ・貸付期間 認定月から当該養成施設卒業の属する月まで ・貸付額 保健師、助産師、看護師の養成課程に在学する者 20,000円/月 准看護師の養成課程に在学する者 15,000円/月 進学コース(准看護師 看護師)の定時制3学年に在籍する者 に対する加算額 20,000円/月	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
成果指標	貸付決定者割合	新規貸付決定者/新規貸付希望者×100	貸付の希望に対し、実際に貸付を行なった割合を指標とする	46	100	61		
				138	139	133		
活動指標	貸付者数	貸付者合計(新規貸付者+継続貸付者)	年間貸付者数を指標とする					

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	決算(予算)額	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
人員・時間数	1人/年	1人/年	1人/年	1人/年	1人/年	1人/年
人件費	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
その他経費	0	0	0	0	0	0
合計	39,320	37,900	36,640	33,700	33,700	
特定財源	13,287	12,404	15,001	5,906	5,906	
対象数	138	139	134	119	120	
対象の単位あたり経費	284.9	272.7	273.4	283.2	280.8	

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	貸付の希望者は予定を上回っており、事業の目的は達成できていると考える。
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B:一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 看護師等の充足率を確保するためには、看護職員を的確に育成・確保する必要があり、養成施設へ通学するにあたり、資金の貸付は必要であると考えている。
(3)有効性 評価 A ▼	A:有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		
		説明	看護師等の確保のための事業であることから、必要と思われ有効であると考えている。
(4)効率性 評価 A ▼	A:優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 貸付の希望者の大半に貸付が可能なおことから、それなりの効果は出ていると考えている。
(5)公平性 評価 A ▼	A:公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	貸付者を決定する場合、予め養成施設長の推薦により決定しているため、適切であると考えている。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	説明: 一定の水準で貸付事業を実施しているため、貸付額の増額或いは貸付対象者の枠を拡大しない場合には、余り成果向上の余地はない。	手段	事業費は全て貸付金のため、貸し付け対象者の枠を縮小しない限り、削減はできない。
		削減額	千円

11 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較 神奈川県、川崎市等で貸付事業を行っている。
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 本市として、看護師等の人材育成については、医療機関・福祉施設等今後とも需要が拡大されると予想されることから、事業継続は必要と考えている。
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

3年以上の定着率など効果の把握について検討すること
